

令和8年

第1回仙北市議会臨時会

市 政 報 告

仙 北 市

# 令和8年第1回仙北市議会臨時会 市政報告

令和8年第1回仙北市議会臨時会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、仙北市の人口動態についてです。

12月31日現在の人口は2万2,337人で前年同月比520人減、世帯数は1万187世帯で前年同月比68世帯減となっております。今年度12月までの出生届出数は39人となっております。前年同時期の出生届出数は54人で、15人減という状況です。また、12月の転入は28人、転出は33人となっております。

次に、一般会計補正予算（第17号及び第18号）についてです。

第17号の補正額は、3億6,168万1千円の追加で、補正後の額は307億4,812万7千円です。補正事業は、仙北市生活応援商品券事業費、戸籍事務・マイナンバー制度導入事業費、大雨災害復興支援事業費、冬期交通対策費です。繰越明許費補正及び債務負担行為補正は追加です。

第18号の補正額は、2億7,660万円の追加で、補正後の額は310億2,472万7千円です。補正事業は、冬期交通対策費です。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

## 【総務部】

### ◇消防出初式について

1月10日、仙北市民会館を会場に仙北市消防出初式を開催しました。はじめに市民会館駐車場で観閲式と分列行進を行い、続いての式

典には高橋豪<sup>たかはしごう</sup>県議会議員をはじめ、多数のご来賓の皆様からご出席いただきました。式典では、これまで長年にわたり消防活動に功績のあった団員の表彰などを行い、年頭にあたり地域防災への決意を新たにしました。

#### ◇雪害事故について

1月13日午前8時5分頃、西木町桧木内に住む62歳男性が、小屋で屋根の雪下ろし中に転落し、病院へ搬送されましたがお亡くなりになりました。また1月16日午後3時45分頃、角館町西長野に住む78歳男性が、除雪作業中に水路へ転落した状態で発見され、病院へ搬送されましたがお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈りします。

今シーズンは雪害による人身事故が多発しているため、今後も市公式SNSや戸別受信機で注意喚起を強化します。

#### ◇災害警戒部の設置について

市内では年明けから積雪が増加し、100センチを超える地点が増えるなど、雪害の危険性が高まっていることから、1月20日午後4時に仙北市災害警戒部を設置しました。今後も大雪が続く見込みであることから、公式SNSや戸別受信機などで、雪害事故防止の注意喚起を強化するなど、警戒にあたります。

#### ◇大雨災害への義援金について

8月20日に発生した大雨被害への義援金の受付は、12月26日をもって終了し、義援金の総額は318件、1,390万13円となりました。ご支援いただいた皆様に心からお礼申し上げます。

### 【企画部】

#### ◇秋田内陸線について

12月12日、秋田内陸線で倒木と衝突した車両が脱線転覆する事故が発生しました。この事故により、運転士が負傷しましたが、事故発生時に乗客はいませんでした。

事故の影響で12月12日から15日は、阿仁合～角館駅間で区間

運休となりましたが、12月16日に全線で運転再開となりました。なお、事故車両については引き揚げが困難なため、今後、現場において解体撤去する予定と聞いております。

このほかにも年末年始、さらにそれ以降も大雪とそれに伴う倒木などにより、全線、あるいは部分的な運転見合わせ等が断続的に発生していることから、秋田内陸縦貫鉄道株式会社、県、北秋田市とも連携を図りながら、安全安心な、そして安定した運行ができるよう、引き続き協力していきます。

## 【観光文化スポーツ部】

### ◇<sup>たかおふぼん</sup>高雄富邦マラソンへの市民ランナー派遣並びにトップセールスについて

1月11日、台湾高雄市で、田沢湖マラソンと友好交流に関する覚書を締結している「<sup>たかおふぼん</sup>高雄富邦マラソン」が開催されました。

本市からは交流事業の一環として、田沢湖マラソン参加者のうち、市民ランナーの上位完走者2名を派遣し交流を深めました。フルマラソンには<sup>たかはしさとこ</sup>高橋智子さん、ハーフマラソンには<sup>かぶともりてるみ</sup>兜森輝美さんが出場し、両名とも年代別で10位と好成績を収めました。

また、私自身もスターターとフルマラソンの表彰式でプレゼンターを務めたほか、会場内に仙北市ブースを設け、田沢湖マラソンへの参加を呼びかけるとともに観光誘客に向けたPRを行いました。ブースには多くの来場者が訪れ、賑わいを見せました。

来年で田沢湖と澄清湖との姉妹湖提携締結40周年を迎えることから、今後も高雄市との交流を大切にし、高雄市をはじめとする多くの台湾の皆さまに仙北市へお越しいただけるよう、取り組んでまいります。

### ◇岩橋家住宅の重要文化財(建造物)指定について

1月15日、武家屋敷「岩橋家住宅」の歴史的、文化的価値が高く評価され、国の重要文化財(建造物)に指定されました。

重要文化財は昭和50年に指定された草彌家住宅に続き2件目で、市制施行後、初めての指定となります。所有者をはじめ、関係者の皆様の長年にわたる文化財の保存と継承の取組に改めて感謝申し上げます。

今後も引き続き、文化財の保存と活用に努め、文化理解の促進、地域の魅力向上につなげてまいります。

## 【農林商工部】

### ◇「山の楽市」について

12月19日から21日まで、東京都町田市<sup>まちだし</sup>の商業施設ぽっぽ町田を会場に、今年度2回目の「山の楽市」が開催されました。

10月17日から19日まで開催された1回目では市内10業者が出店し、12月は12業者が出店して、直送した仙北市の味覚の数々や地域の魅力ある商品を販売しました。

令和元年度より「ぽっぽ町田」を会場に開催し、毎年売り上げを伸ばしてきましたが、7年目にして初めて今年度目標としていた1千万円を超える売り上げとなりました。

## 【医療局】

### ◇仙北市病院事業管理者の就任について

病院事業改革の重要な舵取り役として、秋田大学客員教授の高橋<sup>たかはし</sup>勝弘<sup>かつひろ</sup>氏が、令和8年2月1日付けで仙北市病院事業管理者に就任することとなりました。

高橋氏は、厚生労働事務官として国の医療行政の最前線でご活躍された後、秋田県医務薬事課長、健康福祉部次長などを歴任され、県の医療・福祉施策の推進にも深く関わってこられました。退任後も、社会医療法人正和会<sup>せいわかい</sup>の医療福祉総合研究所特別研究員として、令和6年には『縮小する秋田の生き残り戦略』を出版されるなど、医療分野における卓越した専門家でいらっしゃいます。

国と地方行政の両面で培われた医療制度への深い理解と現実的な課題解決能力をお持ちの高橋氏の就任は、病院事業が直面する多

岐にわたる難局を乗り越え、持続可能で質の高い医療サービスを提供していく上で不可欠なものと確信しております。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げます。本臨時会に提案している案件は、専決処分関係2件、予算関係2件の計4件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げ、市政報告とします。